

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)12月26日
所 属 名:湖東農産普及課
番 号:F25018
発信者名:川村智、堤、緒方

JA 東びわこイチゴ部会で目合わせ会を開催

12月8日、JA 東びわこイチゴ部会で目合わせ会が開催され、部会員 18名(うち「みおしづく」生産者 9名)やJA 営農指導員、市場関係者等 27名の出席がありました。「章姫」「みおしづく」の市場出荷に向けた出荷のポイントを部会員で認識統一するとともに、安定して収穫・出荷できるよう今後の栽培管理等について説明しました。

最初に、長浜合同青果より、収穫したイチゴを用い、市場出荷に適した形状や色味等の出荷規格について説明されました。特に、「みおしづく」は他品種に比べて出荷規格が細かく定められているため、規格表やカラーチャートを活用しながら、収穫時の着色程度を参加者で確認しました。当課からは、「みおしづく」出荷時のパック詰め作業や出荷後の着色等の注意点と、厳寒期におけるハウス内の温度管理や養液管理について説明しました。また、「みおしづく」のブランド力を高めるため、部会に対して「みおしづく」の市場出荷数量の確保に向けた協力を呼びかけました。

部会員からは、「「みおしづく」は乱形果が多いがどの程度までなら出荷可能か」「着色不良であっても過熟になる場合があるので注意が必要」等の質問・意見が出ました。

JA 東びわこイチゴ部会は、部会員の理解・協力のもと、「みおしづく」を市場出荷していることが特徴です。今後も「みおしづく」等のイチゴを安定して生産・収穫・出荷し、市場関係者に評価されるよう、関係機関と連携し、栽培指導等を行います。



参加者で市場出荷規格を確認



当課から今後の栽培管理のポイントを説明